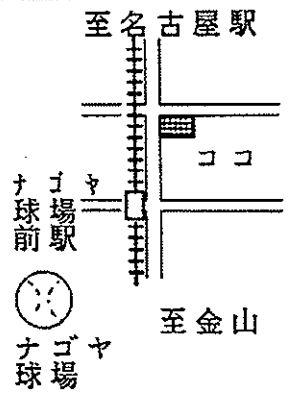


補償コンサルタント情報コミュニケーション誌



発行日 発行所 新日 TEL 052-331-5356 編集者
3ヶ月毎1回 名古屋市中川区山王一丁目8-28 FAX 052-331-4010 秋山学



特集 事業損失

第三号シニチ補償ニコミでは、先回(昭和六十三年十一月一日発行第二号)に引き続き事業損失の特集の第一回として、事例等の紹介を行います。

新しい元号平成元年を迎え社員一同「新たな日の出に、...」

権利意識の高揚と、社会に対する帰属意識が薄

れ、わがままな自己主張がまかりとおる風潮等は事業損失の問題解決の難しきにも関連しているように思われます。

事前調査については、工事請負者で、事後調査及び損失額の積算は起業者

の結果成果品について安からう悪からうという事態は当然の結果といえます。

起業者の立場からの抱き合せ発注の多くのメリットは理解できませんが、調査者の立場から申し上げます。

橋脚間から入射する日光の取扱い等意見の分かれるところではあるが、これまで消極的であった補償に對し新たな道が開かれたことに世相の流れを痛感します。

ウナギに対する事業損失

養鰻経営が高額収入、労働集約的(重労働)であり、生き物を相手として

シラスの時期は外部のストレスに対して非常に影響を受けやすいことから、この時期に工事が施工される補償の方法として

シラスの入荷をストップさせ、その場合に発生する営業休止に對する補償を

社会環境の変化・住民意識の向上に伴い、公共事業といえども事業損失に對する被害者意識は強く、工事の施工にあたって種々な障害が発生し

事業損失について特別の法制度はなく、補償基準では「...事業の施行により生ずる日陰・臭気・騒音・その他これに類するものによる不利益、又は損失については、補償しないものとする。」

年)等が制定され、事業損失に對する対応の必要性がうかがえる。日本道路公団では「高架橋等の設置に起因する日陰による生ずる水稲減収の損害に係る「基準」(昭和61)が基準化された。

迅速性に富む特徴を有するものです。サンプルを添付させて頂きますので御一見下さい。

在鰻に對する補償

その時点で育成中の鰻に對する補償の方法として

ある一定の時期を定め在鰻を全て処分し、以後営業を休止し得べかりし利益と経費を補償する。

工事施工期間中といえども通常通りの営業を行い発育不良により出荷が遅延することによる経費増殖等による利益の減少を補償する。

シラスに對する補償現在の一般的養鰻経営は十二月〜二月にシラスを入荷し、一年〜一年半でそのシラスを成鰻までに育成し出荷す

ただし、ウナギに對する事業損失が発生したとなれば、その補償額が莫大となることは、数多くの補償先例があり、周知のとおりである。

従って、ウナギに對する事業損失に對する補償の方法の問題は、事業損失の性質上この補償を事前賠償として限定的に認めているにすぎないことから、非常に消極的といわざるをえない。

社員のプロフィール 補償調査部 係長 山内道保(30歳) 入社してはや八年目となり時の経過の早さに驚くこの頃です。家族は妻(伊久恵30歳) 可愛い長男(陽介2歳)の三人暮らし。仕事から運動不足が気味。「小太りの山内君」と呼ばれる体形となっ

家屋事前調査

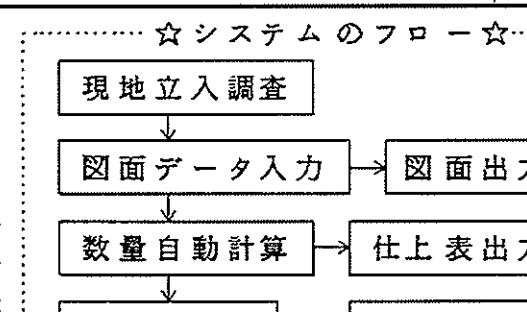
社会環境の変化・住民意識の向上に伴い、公共事業といえども事業損失に對する被害者意識は強く、工事の施工にあたって種々な障害が発生し

事業損失に對する特別の法制度はなく、補償基準では「...事業の施行により生ずる日陰・臭気・騒音・その他これに類するものによる不利益、又は損失については、補償しないものとする。」

年)等が制定され、事業損失に對する対応の必要性がうかがえる。日本道路公団では「高架橋等の設置に起因する日陰による生ずる水稲減収の損害に係る「基準」(昭和61)が基準化された。

迅速性に富む特徴を有するものです。サンプルを添付させて頂きますので御一見下さい。

て発憤し、昼休み時間会社近くの露橋スポーツセンターに通って水泳を始め、また通勤には車を辞めて七キロの道程を自転車で。一時期70kgあった体重も60kgとなりスポーツ心に目覚め琵琶湖一周を自転車で完走しました。スポーツ同様仕事にも頑張っています。今後とも御指導の程よろしくお願ひ致します。



一般建物の補償CADシステムの特色は、図面データ入力時に建物の寸法等基本的な数量を入力する為、このデータ入力が完了すれば図面及び数量計算は自動的に行われます。調査表入力時では各品等を判定することにより単価をコンピュータが呼び出し調査表が作成されるもので、成果品が綺麗であることはもちろんのこと、正確性・迅速性に富む特徴を有するものです。

補償CAD開発先

一般建物調査から積算までのシステム化。新日グループである株式会社シニクスはパソコンによる中部用対連仕様一般建物の図面作成から部分積算に至るまでの補償CADを開発しました。